

Access Report

2020年 1月 10日号
アクセス教育情報センター

目次

学校情報	学校情報	教育情報	その他	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・灘中高 ・明法中高 ・カリタス女子 ・東京女子学園 		<ul style="list-style-type: none"> ・学費値上げ ・共通テスト ・増える系属校化 ・小中生体力 	<ul style="list-style-type: none"> ・名言・迷言・冥言 ・記述式採点業務 ・安倍政権 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートが取れない中学生

学校情報

明法中高 海外進学卒業生より

(学校ホームページより)

* 米国の大学生(本校卒業生)が語る、日米の高等教育制度の違い

本日、昨春に本校を卒業し、現在は米国カリフォルニア州にある大学に通う OB(一時帰国中)が母校を訪ねてきてくれました。高校時代の留学を通して物事を「世界」という視点で考えるようになった A君は、帰国後に本校の海外大学進学カウンセリングを受けながら、TOEFL や SAT を受験。また独学で Python を学んだ結果、将来は得意の IT 分野で世界に挑戦すべく、日本の大学ではなく米国の大学へ進学という選択をしました。そんな彼に、今回いくつか質問をしてみると、非常に興味深い答えが返ってきました。

Q1. 米国大学の教育制度で、最も日本との「違い」を感じる点は？

A1. 受講科目を選択する際に、過去の受講生による教授の rating(格付け)を参考にすることがスタンダードになっています。教師が生徒から評価を受けて、それが公開されるので、必然的に授業の質が担保される仕組みが面白いですね。また、授業中のディスカッションや課題文の添削など、peer review(学生同士の相互評価)用紙の提出がそのまま出席率の得点として組み込まれる点が挙げられるでしょうか。

Q2. キャンパス生活を通して、何か日本との「違い」に気づいた点は？

A2. まずは日本以外のアジアからの留学生が増えている点があると思います。中国や韓国に加えて、ベトナムのからの留学生が多い気がします。比較すると、日本人の留学生は圧倒的に少ないですね(笑)。また、年齢構成が非常に多様です。2 児の母として子育て真最中の方や、学びなおして通学される年配者もいます。

Q3. 授業における ICT 化はどの程度進んでいる？

A3. 基本的に、授業の課題配信・提出や成績管理は、全てオンライン上で行われます。成績でAを取るには final(学期末考査)であと何点必要か等も端末から簡単に確認できるため、非常に便利です。ただ、授業中に補足資料として紙のプリントを配布する先生ももちろんいます。

Q4. 授業で最も苦勞をしている点は？またその克服法は？

A4. まず、米国の大学は dropout(落第)の率がそれなりに高いので、毎日の授業に必死についていく必要があります。授業で課される essay(課題図書に対しての小論文)を書くのが自分にとって一番大変です。英語が第2言語なので。僕は数学が得意なので、ネイティブの友人に数学を教える代わりに、essay を添削してもらうようにしています。最初は7割程度の評価だったのですが、今では安定して9割以上の得点率を取れるようになりました。

インタビュー後に見せてもらった彼のスマートフォンに映し出された昨学期の成績はオールA。帰り際に「将来は、エンジニアとして(米国)シリコンバレーでの就職を考えています」と意気込みを語る彼の瞳には、無限の可能性が広がっていました。

本校の海外大学進学指導に関してはこちらをご覧ください。

<https://www.meiho.ed.jp/career/overseas.html>

海外留学制度(GSP)に関してはこちらをご覧ください。

https://www.meiho.ed.jp/learning/hs_gsp.html

21世紀型の短期海外研修に関してはこちらをご覧ください。

<https://www.meiho.ed.jp/common/pdf/overseas-training.pdf>

<https://www.meiho.ed.jp/>

カリタス女子 カリタスから、世界へ

(学校配布資料より)

* グローバル人材を育成する国内外のプログラム…多彩な海外研修を用意

グローバル化が急速に進む時代のなか、カリタスでは、生徒たちが将来、世界を舞台に活躍できるよう、様々な「グローバル教育プログラム」を導入しています。具体的な取り組みとして、体験型英語学習施設で学ぶ「TGG英語研修」(中2)や、世界各国の留学生と交流する「GVS」(中3)、ハーバード大学生を講師に招いて、論理的思考力などを養う「SLICE」(高1・高2)といった国内の活動のほか、中3から参加可能なカナダ研修、オーストラリア・ニュージーランドのターム留学、セブ島研修、マルタ研修、高1からの日仏交換留学と、多彩な海外研修を実施しています。

「カナダ研修は、初めて親元から離れて外国の生活を体験したり、習った語学を実際に使ってみる、海外研修の入り口に最適なプログラムです。ターム留学では、海外の学校生活を体験し、語学力とグローバルな視野を身につけていきます。留学を通して、将来の進路を見出した生徒も多くなりますね。セブ島研修は、マンツーマンの英語のレッスンを集中的に行い、短期間で英語力を上げるのが目的です。街に出て、人々の貧しい暮らしに接して、自分には何ができるか、考える機会も作っています」

*** 語学力と思考力を高める・・・中身のある外国語を話せる人を育てる**

昨年から、世界各国の同世代の人と一緒に授業を受けるマルタ研修が新たに加わりました。「英語のアウトプットは、日常会話ができれば良いわけではありません。マルタの授業では、ディスカッションが入っていますが、生徒には、中身のある発言ができるようになってほしい。そのためにも、本校では、思考力のトレーニングを大事にしています。英語やフランス語をツールとして使い、何が言えるかを重視し、自分の考えのまとめ方、どのように順序立てて話せば、相手に伝わるかという授業を、教科を超えて行っています。それを海外で実践し、パワーアップすることが、研修の大きな目標です」

英仏の複言語教育と、これらをアウトプットするための海外研修プログラム。カリタスでは、実践的な語学力と思考力を高めるグローバル教育に取り組んでいます。

魅力満載!あなたならどれに参加する?
グローバル教育プログラム

<p>マルタ研修</p> <p>世界中に広がるマルタ語圏で、世界中から集まる研修生と一緒に英語を学び、ヨーロッパの歴史が息づく魅力的なプログラム。多岐にわたる活動を通して、グローバルアワードが授けられます。</p>	<p>コリブリ (日仏交換留学)</p> <p>日本でフランス語を学ぶ高校生と、フランスで日本語を学ぶ高校生との交換留学。受け入れ日数と同じ期間、受け入れられた生徒の滞り高層ホテル、ホームステイをしながら留学します。</p>	<p>ターム留学</p> <p>オークスブリッジ・ユニバーシティの6ヵ月間の短期留学をして、語学スキルや国際感覚を磨くプログラム。ホームステイ及び午前授業に加え、最新の英語圏の最新情報を発信します。</p>
<p>カナダ研修</p> <p>カリタスのグループであるクワックルを訪問した後、自国イタワでホームステイをしながら、英語とフランス語を学ぶ3週間の研修。アグライズ・サウスイースターの訪問も含まれます。</p>	<p>セブ島研修</p> <p>セブ島の主要観光地を回り、マンツーマンの授業を中心に、1日8時間の英語レッスンを受ける短期集中プログラム。週末を自由に過ごし、ポカポカの気候が人気の留学先です。</p>	<p>GVS Global Village for Students</p> <p>世界各国から来日している留学生と、英語を使って学ぶ実践的な英語プログラム。グループディスカッションなどを通して、国際的な視野を育みます。</p>
<p>SLICE Student Life Changing Experience</p> <p>パートナー大学であるメンター（講師）に対して行う1日間の英語研修。1日研修のみならず、オンラインでのセッションも実施する。様々なことを日本語で学ぶのが特徴です。</p>	<p>グローバル・リレー講演会</p> <p>世界の第一線で活躍している人物を招き、グローバル研修生との対話（対談）や質疑応答のセッションを実施。参加者全員が講演者のワークショップも参加します。</p>	<p>TGG英語研修</p> <p>2018年にオープンした特設英語学習専用施設「TGG」で、英語を勉強し、国際的な視野を育む。コミュニケーションを重視し、実践的な学習をグループワークで体験する研修です。</p>

<https://www.caritas.ed.jp/>